

# もしものとき、いのちを守るために、危ない場所を知っておく。

ここでの学習の目標  
 ・大雨や台風・地震など、もしものとき、どんな場所が危険なのかを理解する。

災害がおきたとき、大切ないのちを守るために重要なことは、危ない場所を、前もって知っておくこと、そして危ない場所には、絶対に近づかないことです。

## ●大雨や台風、地震などのもしものときには、いろいろなところが危険ポイントに!

いろいろな災害から身の安全を守るためのポイントは、どこに、どんな危険があるかを知っておくこと。どんな危険があるか、みんなでしっかり確認しておこう。

### 大雨のとき、注意した方がいい場所



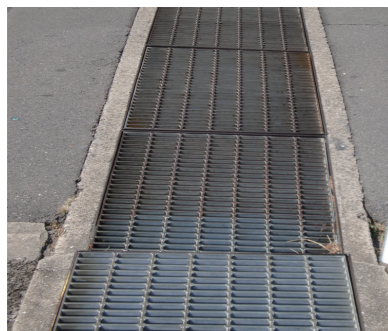
●水につかりやすい道路  
 ➡落ちて水に流される



●フタのない側溝  
 ➡落ちて流される



●くずれそうなガケ  
 ➡くずれた土砂にうまれる



●固定されていないフタ  
 ➡落ちて水に流される



●急な坂道  
 ➡流れてくる水に足をとられる



●くずれそうなガケ  
 ➡くずれた土砂にうまれる

### 台風



### 台風



●強い風が吹いている  
 ➡建物がこわされる



●物が飛んでくる  
 ➡飛んできた物でケガする



●信号機が折れる  
 ➡落ちてきた信号機でケガする

外に出たらこんな危険があるから、台風のときは外に出ないことが大切だよ。



### 地震や津波のとき、注意した方がいいこと



●ブロック塀  
 ➡塀がたおれてケガする



●くずれやすいガケ  
 ➡ガケがくずれてケガする



●上からの落下物  
 ➡割れたガラスでケガする



●低い土地  
 ➡津波にのみこまれる



●棚やロッカー  
 ➡たおれてケガする

大雨や地震などのときは、危険ポイントに近づかないことが大切だよ。

危険ポイントは、ボクの身の周りにも、いろいろあるんだね。

## ●まち歩きでは、安全ポイントもいっしょにチェックしよう!

身の安全を守るためには、安全な場所を知っておくことも重要です。

### おすすめの安全ポイント

- ・避難場所
- ・広い場所
- ・高い場所
- ・外灯(安全灯)
- ・公衆電話
- など



●上から物が落ちてこない広い場所



●避難場所



●津波がこない高い場所